

暑中お見舞い申し上げます

皆さんお元気ですか『わ・わ・わ通信』の金子わたるです

金子わたるの県政・議会報告 『わ・わ・わ通信』

平成23年7月号



金子わたる

群馬県議会議員

ご支援に感謝し、公約実現に全力を尽くします。厳しい暑さが続いておりますが皆さんお元気でご活躍のことと存じます。日頃より私の議会・議員活動にご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月には厳しい選挙戦の中、大きなご支援をいただきましたことあらためて感謝申し上げます。皆さんとの約束を忘れることなく、掲げた政策実現に向けて全力で取り組んでまいります。

3月11日の東日本大震災発生後、いち早く物資の支援等に取り組んできましたが、被災地の復興はまだまだこの復興のために頑張つていきますよう。

6月県議会定例会の『わ・わ・わ通信』をお届けいたします。私は若手無所属議員3人で会派『新星会』を結成し、しっかりとスタートが切れました。

選挙後いろいろなお知らせがあり、ごあいさつが遅れている方々に心からお詫び申し上げます。議会報告をお届けしながら何かせていただきます。今後とも変わらぬご指導、ご助言をいただきますよう、よろしくお願いたします。

6月県議会 大震災関連補正予算

東日本大震災関連 補正予算を承認・可決

東日本大震災の被災地・被災者支援や放射線物質対策、農業・観光支援等の4月・5月の両補正予算を承認・可決しました。主な補正は左記の表の通りです。

放射線物質の測定器は大型の高性能機器を設置するため購入は9月頃の予定です。住宅用太陽光発電補助や県企業局高浜発電所のガスタービン発電機再稼働等、電力不足に対応するためのエネルギー対策予算も増額されました。

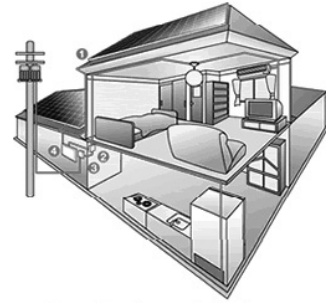
県企業局高浜発電所 ガスタービン再稼働

大震災による電力供給力の大幅低下に対応するため、燃料ガス購入費

《4月補正予算》	
・被災地、被災者支援	5億 8,469万円
・放射線物質対策	3,943万円
・中小企業支援	114億 3,937万円
・農業支援、観光誘客促進	7,205万円
・住宅用太陽光発電補助	4億 8,100万円
《5月補正予算》	
・被災者受け入れ支援	10億 4,800万円
・被災児童生徒就学支援	1億 1,600万円
・緊急雇用創出基金事業	10億 4,000万円
・自家発電設備整備補助	2億 3,700万円
・高浜発電所ガスタービン再稼働	9億 7,727万円

主な東日本大震災関連補正予算

や維持修繕費等の増加のため、3月末で稼働を休止していた高浜発電所ガスタービン発電機を再稼働します。再稼働により年間供給電力量が3916万kW（一般家庭約1万1000軒分）から1億925kW（約3万軒分）に増えます。



- ① 太陽電池モジュール（屋根上）
- ② パワーコンディショナーと接続箱（外壁）
- ③ 分電盤（屋内）
- ④ 買電と売電メーター（屋外）

太陽光発電システム
（省エネドットコム HPより）

住宅用太陽光発電補助 予算額8億円（1万件分）

太陽光発電設備の設置補助金が増額補正され、当初予算と合わせ総額8億円になりました。LED照明やエコキュート等の他の省エネ設備と一緒に設置することが条件ですが、1kWにつき2万4000円で最高8万円の補助金が受けられます。

国が10kW未満まで1kWにつき4万8000円、渋川市の補助は1kWにつき6万円で上限18万円となっていますので、4kWの太陽光発電設備をエコキュートと一緒に設置すると、国から19万2000円、県から8万円、市から18万円の合計45万2000円の補助が受けられます。

昨年度は3kWの設備で51万円の補助が受けられましたが、設置費用が下がったため補助金も下がりました。国会でも電力買取り法案が審議されていますが、現状でも電力会社には10年間の買取り義務があります。

ケータイ・インターネットの 危険性から子ども達を守る

子どもが使う携帯電話を契約する時に、フィルタリングサービスを利用することを、通信事業者、販売代理店と保護者に義務付けるよう群馬県条例が改正されました。販売代理店にも義務付けられているのは全国でも3県だけです。

ただし、保護者が理由書を提出するとフィルタリングなしでも契約できるの、抜け穴とならないように厳格な運用が求められます。

市議会時代もこの問題に取り組んできました。条例の改正は、ケータイ・インターネットの危険性から子ども達を守るための第一歩です。

7月1日より ぐんまDC始まる

JRグループ6社と地域（地方公共団体や県民・企業等）が一体となって取り組み、全国から誘客を図ることを目的とした国内最大規模の大型観光キャンペーン『ぐんまデスティネーションキャンペーン』が始まりました。

大震災により飾花期間が変更となった渋川駅前での『花と緑のぐんまつくり2011 in 渋川』も始まりました。



(上) 上野駅構内のDC横断幕
(下) 渋川駅前の飾花（～10/23）

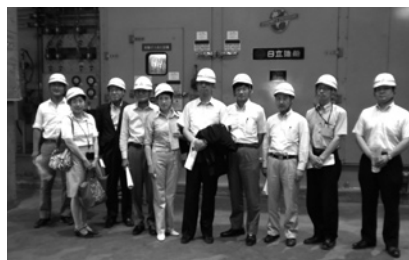
エネルギー対策特別委員会 発電所等の県内調査

私の所属する『エネルギー対策特別委員会』の県内調査が行われまし

た。調査場所は①東京電力群馬支店、②県企業局高浜発電所、③高崎市白川発電所で、群馬テレビでも調査の様子が放送されました。

東電群馬支店では、電気の流れや電圧の監視、需給コントロール等を行っている『群馬給電所』を視察。高浜発電所ではごみ焼却熱エネルギーとガスタービンの高温排ガスを利用した『複合ごみ発電所』を視察。白川発電所は高崎市水道局と東京発電（株）が共同事業で取り組んでいる小水力発電所です。

詳しい報告は『わたるの活動ブログ』をご覧ください。



高浜発電所・ガスタービン発電調査

図書広報委員会

栃木・茨城県議会調査

私の所属する『図書広報委員会』の県外調査で栃木・茨城県庁に行きました。群馬県議会のPRコーナーのパソコンや放送施設が老朽化したため、今後どのように整備していくかを検討するための調査です。



茨城県議会・PRコーナー調査

設備更新のための予算や維持管理費を考慮すると、パネル展示の構成も選択肢のひとつと思えます。



県と渋川の連携いろいろ

約束します。県政を身近に。あなたのそばに。

Wa!Wa!Wa!通信
わたるのわ! 人の和のわ! 輪が広がるのわ! 対話のわ! 平和のわ!
2011.7.23 No.107

高崎渋川線バイパス 小倉〜行幸田間、 現地測量始まる

『主要地方道高崎渋川線バイパス』は高崎市浜尻・国道17号〜渋川市行幸田・県道高渋線のとりせん交差点までの全体延長15.1km、幅員25mの道路です。

浜尻〜高渋線群馬町までの6.2kmは既に開通しており、渋川方面からイオンモールを過ぎて真つ直ぐ行った突き当り（現在は渋滞しているとしても不便な所です）の420m区間も今年度末までに開通となります。渋川方面も県道前橋伊香保線までの区間が今年度中に開通予定で、来年度中（H25年3月）には県道高崎安中渋川線（小倉交差点西）までの区間も開通予定です。



吉岡町・上野田地内の工事現場

3期工区の高崎安中渋川線から行幸田までの2.6km間でも、今年度現地測量の後に10月〜11月を目途に最初の道路設計図面を作成する予定です。

地権者や地元の声・要望をしっかりと聞きながら取り組んでいくよう、県市に対応を求めました。

西群馬病院と渋川総合病院統合計画 県は地域医療再生計画を国に提出

西群馬病院と渋川総合病院の統合計画は、国道17号鯉沢バイパス沿いのケーズデンキ東側、面積4万2902㎡が建設予定地と決まりました。

県は国に対し6月16日、「地域医療再生臨時特例交付金」を申請するための計画を提出しました。その中に今回の統合計画も含まれており、120億円の計画額の内、沼田地域の施設整備等と合わせて71億8800万円を占めています。交付の条件として、施設整備費として2億円以上が交付される医療機関については、原則として10%以上の病床削減を行うことや、80億円を超える交付額を申請する事業は、病



西群馬病院と渋川総合病院

院の統合再編を行うこと等があり、計画案はこの条件に該当します。国は8月中旬に内示し、県が8月31日までに交付申請します。県の単独補助がどうなるのか？市はどのくらいの負担ができるのか？新病院は渋川総合病院の機能をどこまで引き継ぐのか？問題をひとつひとつクリアしていかなければなりません。

伊香保再生事業 大型バス駐車場整備

伊香保温泉再生事業はH21年度から第2期工事に入り、本年度は市の当初予算に3億3193万8000円の事業費が計上されています。旧ハワイ王国公使別邸の移築や延長した石段東側のトイレ整備、旧観山荘周辺の大型バス駐車場整備や電線地中化等を進めていきます。



伊香保ハワイアンフェスティバル

中村上郷線4車線化に 向けて拡幅工事

中村上郷線のJR跨線橋の4車線化に向けた工事が進んでいます。国道17号・中村交差点〜石原交差点

〜藤ノ木東交差点〜あじさい公園北から渋川八幡宮西を通り、金井地内に抜ける上信自動車道の『渋川西バイパス』約5kmが都市計画決定されたためです。H24年度拡幅工事が完了の予定です。一日も早く、休日の大渋滞が緩和されることを期待します。



跨線橋東側の舗装工事

高渋線拡幅工事 用地買収70%

県道高渋線・石原交差点〜とりせん交差点間の拡幅工事は、用地買収が70%まで進んできました。高渋バイパス3期工区の進捗状況を見ながら進めていく予定ですが、まだまだ期間がかかりますので、県道拡幅の早期着工を要望しました。



道路西側の用地買収が進む

小野上公民館整備

小野上総合支所2階の公民館整備が始まりました。整備規模は左記の通りで、H24年4月開館予定です。

- ◎児童室兼図書室 123.98㎡
- ◎講義室（定員150人）188.44㎡
- ◎ホール（定員150人）155.10㎡



公民館として整備の進む小野上総合支所2階

北橋町分郷八崎 渋川大胡線道路改良

県道渋川大胡線の佐久発電所北のカーブは、大型車両がすれ違つたのがやつの道路です。今年度から延長550mの道路改良が行われます。H23年度用地買収、24・25年度で工事の予定です。



大型車が通ると危険なカーブ

渋川県産材センター 関東一の林業県を目指して稼働

群馬県森林組合連合会の『渋川県産材センター』が白井地内に竣工しました。このセンターは材質によってA材・B材・C材に分けられる木材をすべて活用するため、森林資源の有効活用ができれば林業収益の向上につながる計画となっています。



竣工式でのテープカット

下久屋渋川線 道路新設560m工事進む

県道下久屋渋川線の赤城町の敷島駅から北に向かうバイパス新設・延長560mの工事が進んでいます。以前のカーブした道が真つ直ぐになり、幅員も広くなります。



敷島駅北から真つ直ぐに